

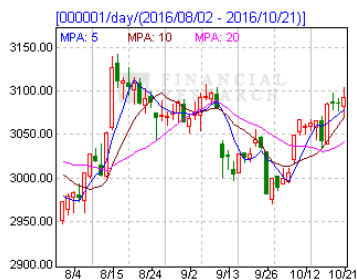


【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	15年末株価
NYダウ	18,145.71	-16.64	-0.09	0.04	4.14	17,425.03
NASDAQ	5,257.40	15.57	0.30	0.83	4.99	5,007.41
日経225	17,184.59	-50.91	-0.30	1.95	-9.71	19,033.71
上海総合	3,090.94	6.48	0.21	0.89	-12.67	3,539.18
滬深300 (CSI300)	3,327.74	9.14	0.28	0.66	-10.81	3,731.01
ハンセン	23,374.40	69.43	0.30	1.49	6.66	21,914.40
H株	9,686.38	45.16	0.47	2.00	0.26	9,661.03

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は0.6%高と反発、本土市場は0.9%高と続伸

香港市場は21日が台風による休場のため4日間の取引。ハンセン指数は4日間で0.6%高と反発した。週初はB株市場の急落をきっかけに不安定な値動きとなったが、B株市場が急反発すると香港市場でも持ち直す動きとなった。19日発表の中国の経済指標はサプライズなく通過。その後は全般に薄商いの中、方向感に乏しい展開が続いた。本土市場では上海総合指数が1週間で0.9%高と続伸。上海総合指数は1カ月半ぶり高値圏とあって3100ポイント付近では上値の重さが目立ち、伸び悩む展開となった。

今週の展望:香港市場は上値の重い展開か、週末にかけて慎重姿勢強まる公算

香港市場は売買代金が低調に推移する中、上値の重い展開が予想される。先週発表された中国の経済指標が予想通りだったことで景気の先行き不安はやや後退しているが、12月の米利上げが意識される中、28日に7-9月期の米GDP速報値の発表を控えていることもあり、週末にかけて慎重姿勢が強まる公算。一方で7-9月期決算の発表が本格化することから個別物色中心の展開となりそうだ。本土市場はやや弱含みの展開か。6中全会開幕で政策関連銘柄に注目が集まるが、人民元安を受けて資金流出懸念が強まる公算。

先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 CNOOC (00883)	10.68	4.91
2 中国神華能源 (01088)	16.10	4.55
3 瑞声科技 (02018)	80.05	4.16
4 ベトリファイ (00857)	5.54	4.14
5 中銀香港 (02388)	26.95	4.05
6 交通銀行 (03328)	5.87	3.16
7 長江和記実業 (00001)	98.20	2.94
8 中国建設銀行 (00939)	5.72	2.69
9 中国海外発展 (00688)	24.35	2.53
10 シパック (00386)	5.80	2.47

▼値下がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 チャイナ・モバイル (00941)	92.00	-2.08
2 チャイナ・ユニコム (00762)	9.43	-1.87
3 中国人寿保険 (02628)	20.10	-1.47
4 信和置業 (00083)	12.98	-1.07
5 招商局港口 (00144)	20.80	-0.95
6 新世界発展 (00017)	9.56	-0.93
7 銀河娛樂 (00027)	30.05	-0.66
8		
9		
10		

▼今週の主なイベント

- 10月24日(月)
- 【中国】6中全会開催(27日まで)
- 10月27日(木)
- 【中国】工業企業利益(9月)
- 10月28日(金)
- 【米国】GDP速報値(7-9月)

▼今週の期待材料

- ◆中国の7-9月期GDP成長率は6.7%と3期連続で横ばい、市場予想とも一致し景気減速懸念がやや後退
- ◆24日から中国で共産党の6中全会開催、インフラ関連や環境関連など政策関連銘柄が賑わう可能性も
- ◆9月の主要70都市不動産価格が前月比で上昇した都市は前月に比べ1都市減少、過熱感がやや後退

▼今週の懸念材料

- ◆米利上げを織り込み人民元相場が約6年ぶりの元安水準、中国からの資金流出懸念が続く公算
- ◆7-9月期決算の発表が本格化、市場予想下回る決算が続けば相場全体の下押し要因となる可能性も
- ◆「滬港通」を通じた中国から香港への資金流入が先週はマイナスに、中国からの資金流入期待が後退

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 越秀地産 (00123) : 江蘇省太倉市の複合開発プロジェクトの権益50%を取得
- ☆ 中国中車 (01766) : 最高時速600キロのリニアモーターカーの開発に着手
- ☆ 上海医薬集団 (02607) : 豪健康食品会社ビタコの新公開化計画、豪当局が認可
- ☆ 恒大集団 (03333) : 傘下のサッカーチーム「恒大淘宝」が1部リーグ6連覇を達成
- ◇ 浙江世宝 (01057) : 第三者割当増資計画を発表、最大13.5億元を調達で事業強化
- ◇ 上海電気集団 (02727) : 航空機設備メーカーの独ブローチェの買収を完了
- ★ チャイナ・ユニコム (00762) : 1-9月期決算は81%減益、運営費の増加が響く
- ★ 大唐国際発電 (00991) : 27日に1-9月期決算を発表、会社予想は赤字転落
- ★ 東方電気 (01072) : 1-9月期決算は赤字転落、需要冷え込みで収益悪化
- ★ エン州煤業 (01171) : 7-9月期の石炭生産量は3%減、販売量は11%減少

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。